

令和三年度 卒業証書授与式 励ましの言葉

穏やかな春の良き日、保護者、ご家族の皆様を始め、地域の方々、本市並びに本市教育委員会、多くの皆様のご理解ご尽力により、本日ここに、本校 令和三年度 卒業証書授与式を挙行できますことは、何よりも嬉しく、またありがたい事と存じております。

高い所からではございますが、まず以って、御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、卒業生の皆さん 卒業おめでとう！

先ほど、皆さんに、卒業証書をお渡しする事ができました。その卒業証書は、皆さんが六年間、一生懸命努力し、小学校のすべての課程を修了したことの証しであります。

しかしながら、この六年間、自分だけの力で小学校に通えたのではないということも忘れないでください。

自分を、今日まで育ててくれた保護者の方々をはじめ

め、家族の人々、また、お互いに切磋琢磨、助け合い、支え合って生活してきた多くの仲間、優しく丁寧に、時には厳しく指導して下さい先生方、そして、いつも温かい声とともに、登下校を見まもっていただいた「地域みまもり隊」の方々をはじめ、喜志小校区にお住まいのすべての方々、このように多くの人々に助けられ、導かれて、ここまで歩んでくることができたのです。

「自分という人間は、自分だけの力で生きて来られたのではない。」

このことを皆さんとともに、あらためて再確認したいと思います。

さて、私と皆さんとは、わずか三年間、一緒に生活をともにしただけです。従って、皆さんのことを充分理解できていないのかもしれないし、ここで私が先生方を代表してお話をするのは、ふさわしくないのですが、今日は小学校での最後の授業として、国語（こ

とばの持つ力)・算数(時間について)を中心に、進めて行きたいと思えます。

まず、皆さんと一緒に過ごさせてもらった三年間。この三年というのは、「石の上にも三年」と言われるように、一つの物事を完成させるには三年程度かかり、その間には数えきれない途中経過があります。また、大きなことはそんなに数多くできないということをお話してくれる「三年寝太郎」というお話もありますね。

次に、三か月。これは皆さんが先週の学習参観やお別れ集会で披露してくれた『ミュージカル アラジン』。準備が具体的にスタートしてから、発表当日までの期間が、約三か月でした。皆さんは、わずか三か月で観る人すべての人の心を動かし、感動の涙を流させました。そして何よりも、自分や自分達の持っているすごい力を実感できたことでしょう。更に、私たちの住む、この『喜志』の地にも、春・夏・秋・冬という、三か月ごとの季節が巡ってきます。自然もまた凄いですね。

続いて、三週間。これは国語でも算数でも、新しいことを学習し、理解するのにかかる期間です。もちろん学習だけでなく、早寝・早起き・朝ごはんに代表される基本的生活習慣が身につくにも、約三週間かかると言われています。

さらに、三日間。昨日計画したことを、今日実行し、明日振り返る。人間の一生は、この繰り返しであると言われるぐらい、基本となる三日間です。『三日坊主』という言葉があります。何をやっても長続きしないことのとえですが、私は、「三日続いたんだ、今まで一日も持たなかったことが、三日もできたんだ。」と考えて欲しいと思います。いろいろなことに興味を持って、まず三日やってみることが大事です。

そして、三分間。これは、気分を変えたい時、次のことをする時などに、間に挟む、リセットするのにちょうどいい時間です。何かに行き詰った時には、お茶でも入れて、三分間休みましょう。

最後に三秒間。三秒ってすぐですね。あまり意識し

ない単位ですが、この最小単位である『秒』から、時（とき）は刻まれています。そして、最も速い判断は、この三秒間でなされるのですが、その速い判断が、常に正しいというわけではないということも知っておいてください。じっくり考えてみることも大切です。

後になりましたが、保護者の皆さま、お子様のご卒業誠にありがとうございます。今日の立派な姿を前に、感慨もひとしおの事とご推察申し上げます。また今まで、本校教育活動に多大なるご理解ご協力を頂きました。あらためて御礼申し上げます。ありがとうございました。

なお、今後とも本校ならびに本校教育活動にご支援ご協力を、更には喜志小校区、ふるさと喜志の振興に向けてご理解ご尽力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、地域のみなさまには、本日の様子を学校からご報告させて頂く予定ではございますが、皆さまから

もよろしくお伝え頂ければ幸いです。

卒業生の皆さん。みなさんの「母校」となる喜志小学校は、来年度創立百五十周年という大きな節目を迎えます。みなさんと一緒にお祝いできないのは、大変残念です。しかし、この記念すべき年度の基礎、土台を創ったのは、皆さんであること、このことは、紛れもない事実であり、皆さんのことは、喜志小児童の伝説の学年として長く語り継がれていくことでしょう。

いよいよ、4月からは中学生ですね。

健康には充分留意し、今年度の学年目標であった「礼儀・信頼・挑戦」を常に忘れず、充実した生活を送ってくれることを願い、私からのお祝のことばいたします。

令和四年三月十七日

富田林市立喜志小学校長

塩野 義和